

エコツーリズム推進方策検討会提言の概要

1. はじめに

- ・観光による持続可能な地域づくりを進めるエコツーリズムの推進に期待。
- ・東日本大震災の復興支援も念頭に検討会提言をとりまとめ。

<事業仕分けの主なコメント>

- ・エコツーリズムに関する国民の認識はすでに高い。
- ・全体的な戦略ができるまで予算計上を見送るべき。
- ・地域の自主的取組を促す施策に集中すべき。
- ・環境省は自然の保護の普及に徹するべき。

- 2. で認知度等の現状を確認
- 3. で施策展開の方針を整理
- 4. 5. で国の役割と環境省に求める施策を整理

2. 現状と課題

- ・「エコツアー」の浸透に比べ、「エコツーリズム」の意義や効果は十分に伝わっていない。
- ・「エコツーリズム」という言葉は使用していないが、趣旨にかなう活動が多数存在。
- ・主体間調整・計画策定等の取組の初動期でつまずき、進めない状況にある地域が多い。

3. 展開の方向性

「エコツーリズム推進基本方針」におけるビジョンを再認識し、重点的に取組を展開。

【基本方針におけるビジョン】

- ・地域コミュニティの再生・発展
- ・ツアー体験を通じた環境意識の醸成
- ・持続可能な社会の実現
- ・日本の取組の海外への周知



重点を置くべき事項

- 概念及び目標像の共有と浸透
- 初動と自律の促進
- 国際的展開の促進
- 震災復興支援

4. 国に求める役割

法に定められた国の責務を全うするとともに、次の施策を重点的に実施。
○初動支援と技術的助言、○普及啓発、○各主体の交流の場の設定

5. 環境省に求める施策

- ・関係省庁をリードした企画調整及び関係施策との連携強化を求める。
- ・その上で、特に次の5項目の施策の重点的な実施を提言する。

■ <u>法律が目指す姿の実現</u> 全体構想策定の調整	■ <u>始めたいと思うグループを増やす</u> 初動期の財政的支援、マニュアル提示
■ <u>見本となるツアーを国立公園で作る</u> 利用適正化に係るモデル事業の実施	■ <u>エコツーリストを作り出す</u> 旅行者向けの戦略的広報の実施
■ <u>震災復興への貢献</u> 自然資源調査、モニターツアーの実施	

6. おわりに

- ・震災復興に際しエコツーリズムの意義を再認識し、提言を踏まえて必要な施策を実施すべき。